



総合教育センターだよりデジタル版のお知らせ

令和4年度の総合教育センターだよりは、次号からデジタル版で配信します。
これまで、センターの取組等の情報を、紙を媒体としてお届けしてきましたが、
媒体をデジタルに改め、デジタルならではの情報発信に挑戦していきます！

次号をお楽しみに！



デジタル版は、総合教育センターホームページ (ITEC) に掲載していきます！
<http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/tayori/index.html>

11月・12月 PICK UP講座

申込期間

小・中・義務教育学校 9/5(月)~9/16(金)
府立学校 9/5(月)~9/22(木)

420



【美術館連携】中高美術講座

～対話で深める鑑賞～

12月2日(金) 京都国立近代美術館

講師：京都芸術大学 准教授 伊達 隆洋
京都国立近代美術館 研究員 松山 沙樹

対話による鑑賞の演習を通して、対話によって見方や感じ方を深める鑑賞の授業の理解を深めます。美術館と連携した鑑賞の授業構想のヒントが得られます。

学習指導

425



中高外国語科教育講座Ⅱ

～学習評価の具体を探る～

12月9日(金) 京都府総合教育センター

講師：敬愛大学 教授 向後 秀明

中・高等学校の外国語科の授業を行う中で、評価のことで悩んだり、困ったりしていることはありませんか。向後先生から学び、「解決の糸口」を共に見つけましょう。

学習指導

504



生徒指導講座～学習指導と関連付け

ながら、生徒指導の充実を図る～

11月8日(火) オンライン研修のため各所属校(園)

講師：日本大学 教授 藤平 敦

児童生徒に対する理解を深め、学習指導と関連付けた生徒指導の在り方や、生徒指導の充実を図るために、いかに周囲の教職員の動きをつくるかについて学べます。

生徒指導

513



地域教材を活かした授業づくり講座Ⅱ

～丹後郷土資料館で学ぶ～

11月4日(金) 京都府立丹後郷土資料館

講師：海の京都DMO 総合企画局長 村上 章
丹後郷土資料館 資料課長 松尾 史子

地域学習と各教科の学びをつなげるためのカリキュラム・マネジメントや、地域学習を「知る喜び」「探る楽しさ」に満ちたものにするためのヒントを学べます。

京都ならではの教育

518



教育相談〈上級〉講座Ⅱ

～学校と医療とのよりよい連携に向けて～【領域②】

11月24日(木) 京都府総合教育センター

講師：京都府精神保健福祉総合センター
医療福祉課長 小野 淳子

児童生徒のこころと身体について、医療の視点から理解を深め、学校としての対応や医療との連携の取り方について学べます。

生徒指導

529



特別支援教育・京都教育大学サテライト

「思春期・青年期における発達障害の特性理解」講座

11月1日(火) キャンパスプラザ京都

講師：京都教育大学 教授 相澤 雅文
京都教育大学 教授 小谷 裕美

思春期・青年期に見られる発達障害の特性から生じる困難さを学ぶとともに、医療連携の視点から生涯に渡る一貫した支援について考えます。

生徒指導

学びの直送便



7・8月に実施された研修のうち、教育相談部担当講座の学びを皆様にご紹介します。

519 「今を生きる子どものころ」講座

～自分を傷つけてしまう子どもたちー自傷、自殺を考える～

8月17日（水） オンライン研修

講師：国立精神・神経医療研究センター
薬物依存研究部 部長 松本 俊彦



講義内容抜粋

- ▶ 『死にたい』と誰かに告げることは、『死にたいくらい辛い』ということであり、もしも、その辛さが少しでもやわらぐのであれば、『本当は生きたい』ということである。
- ▶ 自分を傷つけてしまう子どもたちを目の前になると、絶対ダメと正論で関わろうとしてしまいがちであるが、まずは自分を傷つけざるを得ない子どもたちの背景に目を向けることが大切である。
- ▶ 子どもたちの心の声に共感的に耳を傾けながら、一緒に悩み、つながり続ける。自傷や自殺について打ち明けられる関係性を育むことが支援につながる。

受講者の声



自分を傷つけてしまう子どもへの対応では、行為そのものをやめるように言うのではなく、行為そのものを減らすためにはどうしたらいいか、本人と話し合うことが大切だと感じました。



自傷を保護者に伝えるポイントは、保護者を責めるのではなく、保護者が子どもに共感的に関わってもらえるように話すことが大切であると学びました。



私たち教員を含む支援者自身も一人で抱え込まず、家族・医療・行政としっかり連携して行動することが重要だと感じました。

講座担当者より

近年増加傾向にある、自分を傷つけてしまう子どもたちのこころの理解について、先生方の関心が高いことを感じました。子どもたちや保護者に対しての関わりを考え直す機会になったのではないのでしょうか。

京都府デジタル学習支援センター

おいせ

1 授業でのICT活用に悩んでいませんか？

▶ 出前レッスンのご案内

学校のニーズに応じて対面やオンラインで実施しています。（研修内容はメニューから選択）

ホームページから申し込いただけます ▶▶



▶ ワンポイントレッスンのご案内(9月より配信予定)

授業場面に応じたICTの活用方法や授業事例を短時間の動画で定期配信する予定です。

その他のICT活用に関する情報はホームページからご覧いただけます ▶▶



2 研修の一部をご紹介します！【6月～8月】

ICTスキルアップ研修

【内容】

- 入門** 端末の基本的な使い方
- 初・中級** 授業で使える教材作成
- 校務での活用方法



【研修後】

研修で案内したTeamsを使い取組や質問を共有



ICTスキルアップ研修 ▶▶



今後も授業に活用できる研修を進めていきます！